

第 59 回町村議会議長全国大会 衆議院議長祝辞

本日、第 59 回町村議会議長全国大会が開催されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、日頃より町村議会運営の重責を担われ、地方自治の健全な振興発展と住民生活の向上のため、不断のご努力が続けられている皆さま方に、改めて敬意を表します。

国から地方への権限移譲が進み、地方行政の裁量が増すにつれ、政策立案や行政執行の監視を担う地方議会の役割の重要性は一段と高まっております。一方で、我が国は、地方の過疎化や少子高齢化に伴う人口減少局面に突入しており、地域経済社会への甚大な影響が懸念されています。こうした現状の中で、地域の活力を維持し、福祉や医療、教育、環境対策など、住民の生活に直結する多種多様な課題に対処していくには、日々大変なご労苦があることと存じます。

昨年の臨時国会では、地方創生関連二法が成立し、喫緊の課題である人口減少の克服と地方創生に対する本格的な取り組みが開始されました。また、先の通常国会でも、地方創生を更に推進するいわゆる改正地域再生法と、地方公共団体への事務・権限の移譲等を進める第五次地方分権一括法が成立しました。そして、本年十月には、我が国の構造的な問題である少子高齢化に真正面から挑み、日本の未来を切り開く新たな国づくりとして「一億総活躍社会」の実現を目指すため、政府を挙げた取り組みが始まったところでもあります。衆議院といたしましても、国民が各地域で安心して豊かに暮らせる社会を実現するため、住民に最も身近な自治体である町村を後押しし、魅力ある町づくり、村づくりを主体的に行うことができるよう、制度の整備や充実に向けて引き続き取り組んでまいりたい所存です。

結びに、本大会のご成功と皆さま方の一層のご活躍をお祈りして、ご挨拶といたします。

平成 27 年 11 月 11 日

衆議院議長 大島 理森